

医師は語る



医療法人社団
健翔会
堀口医院 理事長
堀口 裕

健康を過信してはいけません

若い頃は、自分が年をとって老いていくなどと全く考えません。ましてや重い病気になるなど想像すらしません。けれども年をとるたびに健康に自信が持てなくなってきました。

睡眠をとっても疲れが抜けない、何となく気力がでない、階段の上り下りですぐに足腰がだるくなる、ちょっとした段差につまずいてしまう、歯がぐらぐらして噛めなくなる、背中を丸くして歩くなど、老いていく兆候が日常の随所に現れてきます。それでも苦痛に感じるほどの自覚症状がない、あるいは職場の健康診断でも異常がないと言われれば、自分は健康だと思ひ込んでしまいがち。しかし、やがて脳梗塞や心筋梗塞、ガンなど重い病気になって倒れていきます。なかには軽い転倒のはずが、すでに骨粗しょう症が進行しており股関節や背骨、肋骨を折って長期臥床を余儀なくされます。また朝起きて、ご夫婦の一方から突然「あんた誰？」と言われた

ら、とても残念に思うことでしょう。どうか平生から自分の健康を過信せず、身体を気遣って下さい。



永遠には生きられない

頑張って生きてみても、せいぜい九〇歳、一〇〇歳のレベルです。二〇〇歳や三〇〇歳は絶対に生きられません。ならば誰にも面倒をかけずに過ごし、ときには人様のために尽力したり、また食べたい物を食べ、出かけたところへ出かけていき、好きな音楽を聴き、好きな本を読み、楽しみながら畑を耕してみる、そんな自立した生活を最期までおくることを考えるべきです。わずかな人生を大病で過ごしてはいけません。

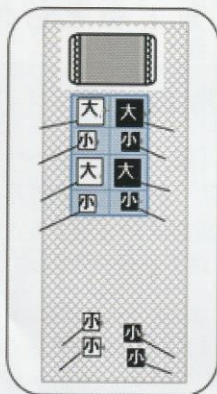
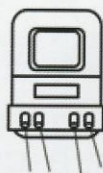
身体の手入れをしましょう

それでは、最期まで健康で過ごすにはどうすべきでしょうか？ それにはちょっとしたコツが必要です。もし皆さんが、何か大切にしているものがあるなら、それをどうしますか？

当然ですが、壊れないように丁寧に大切に取り扱い扱うでしょう。入念に手入れもするはずで。そして丈夫な入れ物にしまっておくでしょう。そうすればいつまでも長持ちします。では人の身体が健康で長持ちするためには、どうしたらよいのでしょうか？ 答えは明白です。皆さんが大切にしているものと同じように扱って下さい。平生から身体を手入れするのです。もしやむを得ず人一倍身体を酷使したなら、人一倍入念に身体を手入れして下さい。それができないとするなら、未永い健康など夢のまた夢でしかありません。

還元電子治療を実践する

身体を手入れする道具は何でしょうか？ これには食事や運動、身体保温、マッサージ、鍼灸、理学療法、薬・サプリメント、音楽、アロマなど、いろいろあります。その中でも私は還元電子治療を実践しています。これは身体に電子を与える治療です。決して直に病気を治す方法ではありません。食べ物の抗酸化物質や空気中のネガティブイオン（マイナスイオン）と同じ働きをします。人が健康で過ごせるか、または病気になるかは「自己防御力」で決まります。自分に病気を防ぐ力があれば健康で過ごせるし、病気を防ぐ力が無いなら病気になってしまいます。このように病気を防ぐ力を自己防御力と言いますが、還元電子治療は自己防御力を丈夫にするための治療です。実践できる方はしっかりと治療し、最期まで健康で過ごしましょう。きっと良い人生になるはずです。



治療器2台同時使用例。詳細はお問い合わせ下さい。

【堀口裕先生プロフィール】北海道出身。川崎医科大学医学部卒業。一九九二年香川県坂出市で医療法人社団健翔会堀口医院を開院。現在は理事長兼院長を務める。長年に亘り、空気中のネガティブイオンに関する生理的作用を研究、独自に開発された細胞内検査と還元電子治療を駆使した、根元（ねもと）医療という新しい医療を推進し、国内外で活躍している。

